

2025 年 2 月 25 日

消化器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「閉塞性大腸癌における Bridge to surgery に関する治療効果の検討 (Retrospective Study)」への協力をお願い

消化器外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象： 2013 年 6 月から 2024 年 5 月 31 日までに閉塞性大腸癌における Bridge to surgery を 100 例に施行し、これらを対象とします。

研究期間： 研究機関の長の研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

閉塞性大腸癌に対して Bridge to surgery を行った症例を対象とし、治療効果の短期成績として術中合併症、開腹あるいは腹腔鏡への移行率、術後合併症について検討します。そして出血量と手術時間や術後在院日数を検討します。そして長期成績として腫瘍学的再発や生存について検討します。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施される項目です。

年齢、性別、診断名、腫瘍の局在、ステージ、術式、手術時間、出血量、入院期間、術後合併症、術後病理検査結果、再発の有無、再発形式、組織型、腫瘍マーカー、予後、排尿機能、性機能、肛門機能改善対策

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科
電話番号：058-230-6233
氏名：松橋 延壽

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科
氏名：松橋 延壽

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp